



<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4216/htdocs>

閉校式典を終えて

2月19日（日）に盛大に閉校式典を終えることができました。

木代 俊道教育委員長はじめ串間市教育委員会の皆様、県議会議員並びに市議会議員の皆様、歴代の校長先生方、本城地区関係機関の皆様にご臨席いただき、盛大に実施することができました。

河野 宰閉校式典実行委員長を中心に準備を進められた役員の方々や本校卒業生の皆様、歴代の先生方、PTAの方々、合わせて460名を超える参加をいただくことができました。謹んでお礼申し上げます。

また、本城小学校の皆様には、ソーランを踊っていただき式典を盛り上げていただきました。

軌跡～最後の1ページ～

本年度当初、18名の在校生は、70年間の本城中学校の歴史と伝統、歴代の先輩方に思いをはせ、「軌跡～最後の1ページ～」という生徒会スローガンを立てました。この一年間、1日1日を大切にし、本城中学校の歴史と伝統を守り、最後の1ページをしっかりと責任をもって刻んで参りました。

自らの成長が、受けた恩に対する感謝の形に

私たちは、これまで地域に見守られ、愛され、導いていただいたご恩を忘れることなく、次の段階へ進んで参ります。本城中学校出身としての誇りと自覚をもちながら、立派な人間に成長していくことが、ご恩への感謝の形となることを自覚し、精進して参りたいと思います。

人は、帰る場所があるから遠くまで行ける

将来、何か思い悩んだり、迷ったりしたとき、この場所に戻れば・・・

中学校を巣立つと、それぞれが自ら選択した進路を進んで行きます。それは、人それぞれ千差万別です。しかし、スタートしたところは、皆、中学校だったことは間違いありません。年齢を重ね、たどり着いたところが何処なのか。ふり返れば、原点と言える本城中学校に繋がっているのでしょうか。



本城中学校 プライド (pride)

エジプトのピラミッドが、どのようにして造られたかは謎に包まれています。今のようないかな機械がある時代ではないので、人々が鞭打たれて労働にあたった姿が浮かんできません。

しかし、近年の研究から、ピラミッド造りに参加した人々は、重労働にもかかわらず、喜びと誇り (pride) をもって働いていたようです。



- ピラミッドを造る時代に生まれた喜び
- 偉大なピラミッド造りに参加している誇り
- 尊く偉大な行動をしているという満足感

さて、みなさん、これからも本城中学校生徒としてのプライド (pride) をもって行動して行ってほしいと思います。生徒のみなさん一人一人に本城中学校生徒としての誇り (pride) をもった責任ある行動をとってほしいのです。本城中学校生徒としての誇り (pride) をもった責任ある行動は、先輩方への尊敬の念であり、本城中学校を価値あるものへと高めることになるのです。

改めて、校歌をかみしめる

作詞 昭和二十八年年度職員団 作曲 代表 高柳 昭二		一、 黒潮よする日向灘 今くれないの朝ぼらけ 平和の里のいしずえを 共に築かん 共に築かん 固き誓いの手を取りて
二、 沃野ゆたけし水が迫 つどいしわれらいく百が 輝く自主のはたのもと 共に進まん 共に進まん 青雲はるかぞみつ	三、 白波さわぐ一里崎 雄々しく立てる若松の 伸び行く姿仰ぎつつ 共にきたえん 共にきたえん 若きわれらが身もたまも	四、 光あふれる丘の上 結ぶわれらが友情の 花とかおるを誇りつつ 共にねがわん 共にねがわん わが学びやのいやさかを

閉校式典では、参加者全員で校歌を4番まで歌うことができました。

昭和28年に当時の先生方が、作詞された歌詞は、以後ずっと歌い継がれてきました。1番には「共に築かん 固き誓いの手を取りて」、2番には「共に進まん 星雲はるかぞみつ」、3番には「共にきたえん 若きわれらが身もたまも」、4番には「共にねがわん わが学びやのいやさかを」とあります。

この歌詞に込められた思いと歌い繋いでこられた本城中学校出身の方々の記憶は、永遠に色あせることなく続いていくと思います。本城中学校は、形として閉校になりますが、我々の心の中には燦然と輝き、生き続けることでしょう。